

富士市中小企業景況調査結果

令和6年度 第2四半期【令和6年7月～9月】

令和6年10月
富士商工会議所調べ

◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。
製造・建設・卸売・小売・サービス業の5産業、201事業所(回収率58.7%)を対象に、「令和6年7月～9月」の3ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別にまとめた。

DI(景気動向指数)とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…令和6年4月～6月 今期…令和6年7月～9月 来期…令和6年10月～12月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

◇ 今期調査の概況 ◇

前期・今期と比べたDI値の動き			↗改善	→横ばい	↘悪化
主要DI	前回調査		今期調査 (前年同期)		来期予測
業況	▲9.1	→	▲11.6 (▲10.9)	→	▲9.9
売上	1.4	↘	▲7.2 (6.8)	↗	▲0.9
採算	▲12.8	→	▲14.2 (▲21.3)	→	▲15.2

今期調査では、全産業合計の業況DIが-2.5ポイントの減少、売上DI-8.6ポイントの減少、採算DI-1.4ポイントの減少となった。来期の予測については、業況・採算DIは横ばい、売上は改善の予想となった。業種別の来期業況DIは、小売業は上昇、製造業・建設業・卸売業・サービス業は横ばいを予想。売上DIは、小売業は上昇、製造業・建設業・卸売業・サービス業は横ばいを予想。採算DIは、製造業・小売業で上昇、サービス業で横ばい、建設業・卸売業で下降を予想。

全体を通して、「人手不足」「最低賃金の改定に伴う人件費増」に関するコメントが多かった。また、「物価高騰は続いており、販売価格を上げてても対処しきれない」という趣旨のコメントも多かった。この他に今年の猛暑による売上減少や仕入難に関するコメントも目立った。

経営上の問題点では、「商品、原材料仕入れ価格の上昇」「人件費高騰」「人材不足」が上位を占めた。

◇ 全産業の動き ◇

〔業況のDI〕 建設業・卸売業は上昇、製造業・小売業・サービス業は下降。

来期は、小売業は上昇、製造業・建設業・卸売業・サービス業は横ばいを予想。

業 種	前 期		今 期 (前年同期)		来期予測
製 造 業	▲13.1	↘	▲19.4 (▲27.7)	→	▲16.7
建 設 業	▲4.2	↗	4.0 (0.0)	→	0.0
卸 売 業	▲27.3	↗	▲14.3 (▲13.6)	→	▲14.3
小 売 業	▲20.0	↘	▲26.6 (▲20.0)	↗	▲20.0
サービス業	14.3	↘	▲4.5 (6.6)	→	0.0
全 産 業	▲9.1	→	▲11.6 (▲10.9)	→	▲9.9

〔売上高のDI〕 卸売業は上昇、製造業・建設業・小売業・サービス業は下降。

来期は、製造業・小売業で上昇、建設業で横ばい、卸売業・サービス業は下降を予想。

業 種	前 期		今 期 (前年同期)		来期予測
製 造 業	2.6	↘	▲16.7 (0.0)	↗	▲8.3
建 設 業	8.3	↘	0.0 (0.0)	→	0.0
卸 売 業	▲17.4	↗	0.0 (13.7)	↘	▲7.1
小 売 業	▲15.0	↘	▲26.7 (0.0)	↗	20.0
サービス業	20.7	↘	9.6 (18.8)	↘	0.0
全 産 業	1.4	↘	▲7.2 (6.8)	↗	▲0.9

〔採算のDI〕 建設業・卸売業で上昇、サービス業は横ばい、製造業・小売業は下降。

来期は、製造業・小売業で上昇、サービス業で横ばい、建設業・卸売業で下降を予想。

業 種	前 期		今 期 (前年同期)		来期予測
製 造 業	▲7.9	↘	▲22.2 (▲36.1)	↗	▲16.7
建 設 業	▲16.7	↗	▲8.0 (▲16.0)	↘	▲20.0
卸 売 業	▲30.4	↗	▲7.1 (▲22.8)	↘	▲21.4
小 売 業	▲25.0	↘	▲40.0 (▲31.2)	↗	▲20.0
サービス業	7.1	→	4.6 (▲3.1)	→	0.0
全 産 業	▲12.8	→	▲14.2 (▲21.3)	→	▲15.2

◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

【製造業】 景気ムード…【厳しい状況】

『製紙・紙加工』…「概ね順調。追加値上げの可否とタイミングを検討中である」「当社は、紙器製造が主力であり、SDGs等の観点から業界の伸長が見込まれるが、受注先の販売量により当社の生産量も左右されることから、今後の見通しは不透明である」「家庭紙は業務用ではインバウンド等で在庫が逼迫している。長尺品も自然災害の影響もあり需要が伸びている」「注文が少なく、機械の稼働率が低下している。仕入値や物流費、労務費が先行して上がっているため現在の採算は大変厳しい。今後値上げを行い収益を改善しないと立ち行かなくなる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「為替次第である。せめて130円位で落ち着いてもらいたい」「円高基調に加え、燃料価格の下落に伴う市場安定化に期待したい」「多少の増減はあるものの、家庭紙は高水準で推移していくと思われる」「10月以降、原材料や副資材の値上げが相次ぎ、弊社も価格改定をせざるを得ない。度重なる改定のため、交渉が難航する場合もあるとみている。また、最低賃金の大幅アップにより人件費上昇は不可避で、苦しい経営を強いられる」とのコメントが寄せられた。

『金属加工』…「工作機械部品等は順調に推移していると思うが、自動車部品については落ち込みがひどく回復には至っていない」「業界全体の仕事量が減少している。長引いた円安の影響が、かなり足枷となっている」「自動車業界の将来像が不明である。トヨタ自動車さえ、マルチパスウェイとして何でもやっていると主張し、将来像がつかめない」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「年末迄には上昇傾向になる事を期待する」「単独での事業継続が困難な状況にある」「不透明の一言」とのコメントが寄せられた。

『金型部品』…「自動車業界の動向は停滞を続け、今後も良い話を聞かない」とのコメントが寄せられた。

『自動車部品』…「現状円安の影響で、輸出増になった状況。ただN社の販売不振の影響は大きい」「変化はなし」「来期も今期同様の流れになると思われる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「自動車市場の活況が続けばだいぶ明るい」「来期も大きな変化はないだろう」「安定期が暫く続くと思われる」とのコメントが寄せられた。

『機械器具』…「配電盤等の電気設備や工事等は仕事が例年よりも増えていると実感している」「生産量を減らしている」「当社の手掛ける省力化・自動化設備の需要は、様々な業界で高まっていると感じる。一方で、その需要に対して供給側の企業が少ないように感じる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「人材の確保を最優先事項とし、シニア、若手、キャリア採用の幅を広げて人材を獲得していくことを目指していく」「先行きは不透明」「仕事の需要はあるが、当社の設計処理能力が常に過負荷状態なので受注を諦めざるを得ない状況である。設計能力拡大の為に技術者の採用をしたいところだが思うように採用が出来ない。新卒採用活動をしていると学生にとって技術と言えば情報が人気で、機械や電気技術者を志す若者が少ないと感じる。今後日本の機械、電気領域での人材不足が非常に心配である」とのコメントが寄せられた。

『食料品・飲料』…「茶農家が生活出来ないぐらいに厳しい時代になっている。肥料、農薬等が値上がりしているのに、荒茶の単価は下がり続けている」「原材料、資材、人件費、物流費、設備投資額などは現在も上がり続けている。販売価格を何度値上げしても、それを上回る費用高騰が続いている。また値上げによる需要低迷も懸念される」「原材料の高騰が続いており、価格転嫁が難しい状況にある」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「市場に出しても何も良い事が無いので、畑の規模を縮小して小売りに専念する様に変えて行く」「業況は厳しくなる一方と考えている。為替は少しずつ円高にふれる

であろうが、原材料等は既に手配しているため、当面の市場価格（販売価格を含む）が下がることはないと考えている」「原材料費の高騰や10月からの賃金改定による人件費増など影響で価格の見直しが必要になると思われる」「時代が読めない」とのコメントが寄せられた。

『**衣料・繊維加工**』…「新型コロナ等の影響により急激な物価高進行で、価格転嫁をせざるを得ない状況ではあるが、受注は減少となり悪循環が起きている状況」「EV関連商品が中国向需要の低迷により、完全にストップ」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「引き続き受注減が予想され、ポストコロナでの計画見直し、改善を早急に進める必要がある」「原材料・人件費の上昇が止まらず、その割に商品価格の値上げ難が続く厳しい」とのコメントが寄せられた。

『**その他**』…「富士市は昔ながらのコミュニティでそれなりに商売が成り立ってしまっている会社が多く見受けられるが、これは良し悪しで、新たな挑戦を行わない企業が非常に多く、地域経済の発展が乏しいのではないかと感じる」「かりがね橋が開道して半年となるが、県道396号はスムーズに通行している」「新卒採用含めて若手の採用が困難」とのコメントが寄せられた。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	13.9	52.8	33.3	▲19.4	横ばい
売上高	25.0	33.3	41.7	▲16.7	上昇
採算	16.7	44.4	38.9	▲22.2	上昇

【建設業】 景気ムード…【低調】

『**総合建設**』…「建設業は色々な課題を抱えているが、DXや労働環境の改善、事業継続のプロジェクトなど様々な取組を行い進められていくと思われる」「生コンクリート、アスファルト等、建設の基本材料の価格上昇に歯止めがかからない。この分野の価格上昇は、採算に大きく影響する」「原材料、商品仕入価格は、高止まりを感じている。業界全体的には良くも悪くもなく「不変」と思われる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては、「資材の高騰、円安等の物価の不安定要素を十分見通した上での受注や施工を行って行く必要がある。人材不足・労務管理を各企業がどの様にクリアして行くかも課題となるが、業界としては、安定に向かって行くと思われる」とのコメントが寄せられた。

『**建設関連（資材・解体・建設車両等）**』…「公共事業がとにかく少なく、民間事業も単価が安く厳しい状況だが、単価を下げずに営業を続けている」「今年度前半戦よりは、少しずつ物件情報は増えつつある」「前期に需要が減退した分は、今期は回復している。しかし、需要増までは至らず、一息ついた程度の状況。今後も、大きな需要増は見込まれない」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては、「民間事業に焦点を当てて営業していくしかない」「来年度の上期までは、現在の情報の物件を見込むことが出来るが、それ以降の見通しが立たない」「燃料費を中心とした値上がりでほとんど全ての経費が増加している。コスト増が収益を圧迫している。価格転嫁が厳しく、厳しい状況が続くそうである」とのコメントが寄せられた。

『**一般住宅**』…「住宅ローンの金利へ先高観が需要の後押しになれば良いと思う」「森島、五貫島、〇×島などの島名がつく町名では住宅新築が多い」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては、「様々な値上げがそろそろ落ち着いてくれる事を期待したい」「若い世代が増えない限り、住宅市場は縮小していくだろう」とのコメントが寄せられた。

『設備工事』…「人手不足による納期遅れと原材料価格の高騰が生じている」「公共工事等の発注量の減少により、仕事量の減少が見られる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては、「過当競争と競争力の低下で、見通しは厳しい」「人員不足と労務費の高騰が予想される」とのコメントが寄せられた。

『造園土木』…「民間では、伐採や草刈りの依頼が多い」「公共工事の発注が全くない」とのコメントが寄せられた。

『その他』…「古くからの地元の製材業者が9月末にて廃業予定である」「茶畑では、抜根や荒れた所が目につくようになった。総合運動公園の周りは午前5時頃に散歩する人が多い。年配者だが、市内の街中を歩くより安心して歩けて良いとの事だ」「時間外労働の上限規制の完全導入により、労務管理上の影響が大きい。中長期の経営課題である」「公共工事の建築分野の発注が少ない上、市外、県外業者の入札参加も目立ってきており、価格競争の激化が深刻になっている」「外仕事の為、暑さに負ける。高齢者では耐えられない」とのコメントが寄せられた。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	12.0	80.0	8.0	4.0	横ばい
売上高	24.0	52.0	24.0	0.0	横ばい
採 算	12.0	68.0	20.0	▲8.0	下 降

【卸 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『機械器具』…「全般的にあまり良い話を聞かない。ユーザーの設備投資意欲が低下しているように感じる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「今期は悪くないが、来期以降の大口案件がない。早く政権が安定して本格的に景気対策を望む」とのコメントが寄せられた。

『自動車部品』…「8月の夏期休暇に入る迄の業績は前年割れだったが、その後は持ち直し、対前年3~5%増となっている。車検部品の売上が増えているが、事故車対応の部品需要も増えている。この夏の暑さで運転ミスが増えているのかもしれない。その他、自動車メーカー側にあった検査ミスによる生産停止が徐々に解除され、新車の販売が戻ってきていることも、改善の要因になっている」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「半導体不足の問題も徐々に解決され、新車の生産が戻れば、新車販売、中古車の取引、部品の需要も好転していくと思われる」とのコメントが寄せられた。

『金属部品』…「全体的には回復傾向にあると思われるが、採算面に大きな課題を内包しているため、企業格差は拡大している」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「当面は同じ状態が続くと思われる」とのコメントが寄せられた。

『製紙原料』…「紙の業界の停滞傾向、加工業者の廃業、人件費をはじめとする諸経費高騰で販売、利益ともに伸び悩み」「ペーパーレス化による原料不足」とのコメントが寄せられた。

『紙』…「仕入価格が上昇している上、気温上昇の為、作業にかかる人件費が増えた」「商圏を広げ、利益率の高い仕事を受注するように考えている」とのコメントが寄せられた。

『再生資源』…「景気に敏感な非鉄金属が、円高に振れた影響で国内相場が下落し、銅は自動車販売（EV）等の伸び悩みと円高で下落している。鉄鋼も中国経済の下降により製鉄

会社が半製品を安価で東南アジアに輸出している為、下落に拍車がかかる」「国内市場の鉄スクラップは、7月中旬からの下げ相場が止まらない状況が続いている。市中スクラップの発生低迷は続いており、夏枯れの時期も重なったことで、入荷の伸びは全くない。しかしそれ以上に需要が減少しているのが現状である」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「為替の落ち着き、経済低迷により、スクラップの発生量が低い」「日本産鉄スクラップの輸出市場の不振。中国からの鋼材輸出増。輸出価格は、国内相場を下回る水準が続いており、円高進行、国内相場下落で価格水準そのものが見えにくくなっている。又鉄鉱石、原料炭相場下落も鉄スクラップ相場を引き下げる要因となっている」とのコメントが寄せられた。

『工業薬品』…「年末に向けて繁忙期となるので受注増が期待できる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「長期的にみると人材不足が影響し、稼働が悪くなると予想する」とのコメントが寄せられた。

『その他』…「人材確保が急務」「訪日外国人、観光客の通過都市になっている為、市内に取り込みたい」「国内スクラップで市況は、全国一律下落中で、今のところどのタイミングで止まるか不明」「コロナが明けても街には人が完全には戻っていない。インバウンドや観光など少し先を見据えた仕事も考えたい」「事業の構造形態の変化に素早く対応するための取り組みを進める」とのコメントが寄せられた。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	14.3	57.1	28.6	▲14.3	横ばい
売上高	28.6	42.9	28.6	0.0	下 降
採 算	14.3	64.3	21.4	▲7.1	下 降

【小 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『衣類』…「酷暑の為、9月に入ってもこれから先の季節の衣類が動かない。全く注文が入らず、売上が無い状態が続く」「夏が暑すぎて着物を着る機会がなくなっている」「紳士服販売では、一流メーカーが廃業する事が最近多くなり、高級品を販売するには大変難しくなっている。安物は今、消費者受けが非常に良く、特に若者達にとっては、利用価値は高いと思われる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「思案に暮れており、季節並みの天候になってほしいと思っている」「明るい兆しが見えて来ない」「景気の安定により売上も改善してくると思われる。今後を期待したい」とのコメントが寄せられた。

『各種食料品』…「猛暑による来店客の減少」「猛暑による品不足や輸入材料の高騰により利益減少の状態が続く。猛暑が売りに影響している。季節感が出しにくくなっている」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「原材料、来客数とも、天候頼みになっている。静観するしかなく、歯痒い思いである」「涼しくなれば売上は増えると思う」とのコメントが寄せられた。

『家電』…「今夏の酷暑により、エアコンの動きが昨年より好調である。蛍光灯が2026年に製造・輸入禁止となる（正式には2027年末以降）。LED化を進めるか、従来の蛍光灯を確保する事が必要だ」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「物価や電気代の高騰により消費マインドが鈍化している。コト提案にシフトし、快適便利な物（商品）に購入意欲をもてるよう、消費につなげていきたい」とのコメントが寄せられた。

『日用品・雑貨』…「金属類の値上げが激しく、業務用のステンレス厨房用品等大幅値上げが続いる」「マスクの常態化、猛暑によるメイク需要の低迷など、特にシニア層の化粧品需要の減少が今夏は目立った」「数年続いたコロナの影響が原因なのか、終息しても以前のような状況にはなかなか戻らない状況である。通販が益々増えるこの頃、その影響もじわじわ感じられるようになってきた」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「ここ数年、毎年値上げの商品があり、今後も続きそうである。包丁等、原材料不足による品切れも多くあり、販売ロスにつながっている」「これから気温が下がってメイク、スキンケアの需要がどうなるか、今後の化粧品業界を占う判断材料となる」「あと 2~3 年は今の状況が続くものと思われる。何か良い方策があったら、指導願いたい」とのコメントが寄せられた。

『飲料品・食品』…「抹茶などの輸出、スーパー卸し、ネット販売、観光地での小売り、葬儀社への卸、など比較的めぼしい分野がある。大手が業績を落としている流れで、このような今迄見向きもしなかった分野にも参入を始めており、中小は働く場を失っている」「残念だが、リーフ茶の国内需要低迷が続き供給過多の状況が続いている」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「一部の富裕層が潤い、大半の中間層以下の層は可処分所得を減らしている。このような中間層からの需要減は、当社への影響が著しく大きい。大企業による業界の独占を推奨し続ける限り、この構図はより深刻となり、一般家庭日常消費財を販売する者にとってはさらに厳しくなる」「国外への輸出が好調でまだ伸び続ける予測が簡単に想像できる。その代わり競争が激しく、海外生産も広がりつつある」とのコメントが寄せられた。

『生花』…「生産者の高齢化と作付け調整が原因で、花不足が続いている。また、燃料高や運送会社の人手不足で花の輸送にも影響が出ている」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「生産者の減少や、輸送力低下の傾向は変わらず、業況は悪くなるだろう」とのコメントが寄せられた。

『自転車』…「価格の上昇は落ち着いてきた。値が下がってきた商品もあれば、まだまだ上がり続けている商品もある」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「供給は十分だが、需要がまだまだ回復しない」とのコメントが寄せられた。

『その他』…「商店街として閉店が多く、街並みが寂しい。何かと魅力のある店が出店してほしいと思う」「健康、安全はお金で買うような傾向にある。富裕層が働く大手企業のために、東南アジア、イスラム圏などからの移民を無計画に推奨し、地価の安い地域は定住や外人部落化が進み、日本人の中低所得者が住む地域は安全が脅かされ始めている。安全のためへの出費を強いられる。今までの“どこでも安全な日本”とは言えなくなってきている。年収 500 万円未満の世帯を優遇する政策をとって欲しい」「10 月 13 日吉原本通りにて吉原宿場まつりが開催される。来場者に楽しんでいただきたい」「廃業する同業者が増え、寂しい限りである」「外国人労働者が増えてきた事もあり、外国人の客も増えてきたような気がする」「テレビ（秘密のケンミン show）につけナポリタンが登場。9 月の第二週と三週の三連休では、アドニス等に行列ができ、吉原商店街 3 店舗で全て売り切れという日もあった。YWC（よしわら若だんなクラブ）のメンバーが商店街マップだけでなく、手造りのお買物マップも作り、商店街回誘客も多く見受けられた。吉原は見どころの店も多く、回遊客も望めるので、行政等も祇園祭も含め、「まちなか観光」をアピールしてほしいと思う」「沼津のヨーカドー跡地へのイオン出店が明らかになった。富士南イオン SC と富士地区の商業空洞化が気になるところだ」とのコメントがあった。

	好転%	不変%	悪化%	今期 D I	来期予測
業況	6.7	60.0	33.3	▲26.6	上昇
売上高	13.3	46.7	40.0	▲26.7	上昇
採算	6.7	46.7	46.7	▲40.0	上昇

【サービス業】 景気ムード…【低調】

『**飲食**』…「客は戻ってきているが、人手不足が深刻で、募集を出しても応募が少ない状況。また食材の高騰が続いている」「まだまだ平日夜の客の戻りが少ない」「7月の猛暑で客足がとても悪かった」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては、「人手不足の状況で、いかにサービスを維持するかが、一つのポイントになる。また、食材高騰への対応も課題だ」「週末は忙しいが、平日夜の（飲酒目的の）客が戻ると、大分楽になる」「秋冬に向けて、需要が伸びる時期に入るが、忘年会等の需要は回復する見込みは少ないと思われる」とのコメントが寄せられた。

『**自動車整備**』…「自動車業界の売上げは横ばいである。材料の高騰、人件費の上昇は続いている」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては、「少々厳しい状況は続いていくだろう」とのコメントが寄せられた。

『**求人広告**』…「求人需要は増加傾向だが、求人商品価格の値上げ難及び価格低下の為、利益率は不変である」とのコメントが寄せられた。

『**広告サービス**』…「楽観できる材料がない」とのコメントが寄せられた。

『**専門サービス**』…「土業間の過当競争が続いている」「顧問先の経営者が高齢者であるケースで、病気により死亡、廃業、解散が相次いでいる。今後、後継者不在に伴う廃業・解散はさらに増加していく傾向にあり、新規顧問先の獲得も難しくなりつつある」「来期は定額減税への対応で気が重く感じている」「行政書士会内で相談員制度が立ち上がり、建設業許可や外国人雇用に関する相談を会（または支部）の業務として開始した。会を通じた業務になるとともに、相談者も積極的に相談をしつつあり、直接的ではないものの業界全体の宣伝効果が期待できる」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては、「過当競争は続くであろう」「世界情勢を見ても、日本経済は先行きは不透明である。今までの円安では輸出企業大手は莫大な利益計上となっているところがあるが、政局がどうなるか、特にアメリカの大統領が誰になるかにより景気は左右される。為替や異常気象に伴う諸物価の高騰は、消費者はじめ中小事業者には影響大である」「零細企業の事業継続性に不安を感じている」「仕事の幅は業界全体で拡大しつつあるが、ガソリン代、郵送費、消耗品等の価格増は利益を圧迫しており、売上増イコール利益増になりにくいと考えられる」とのコメントが寄せられた。

『**観光バス**』…「人口減少に伴い、需要は緩やかに低迷してきている。人材確保は急務だが、なかなか上手くいっていない」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては、「昨年度のバス代金の見直しで販売価格は上昇しているが、それ以上に人材不足と人件費高騰で経営を圧迫している」とのコメントが寄せられた。

『**不動産**』…「宅地造成分譲を主流として経営しているが、宅地分譲用地の仕入が少なくなっており困っている。農地や工場・商店跡地等を購入したいが少なくなっている」「物価高騰によりコスト高となり、消費意識が冷え込んでいる。在庫が増える傾向である」「相続による不動産の相談が増えている」とのコメントが寄せられた。今後の見通しとしては「しばらくの間は改善を見込めない。空き家などが増え財産処分の相談が増えている」「活用できない不動産の売却希望により、だぶつく可能性がある。地域によって不動産の価格低下につながる気がする」とのコメントが寄せられた。

『**クリーニング**』…「賃金上昇と労働時間短縮によりパートタイマーの採用がむずかしくなっている。機械化による省人化を迫られている」とのコメントが寄せられた。

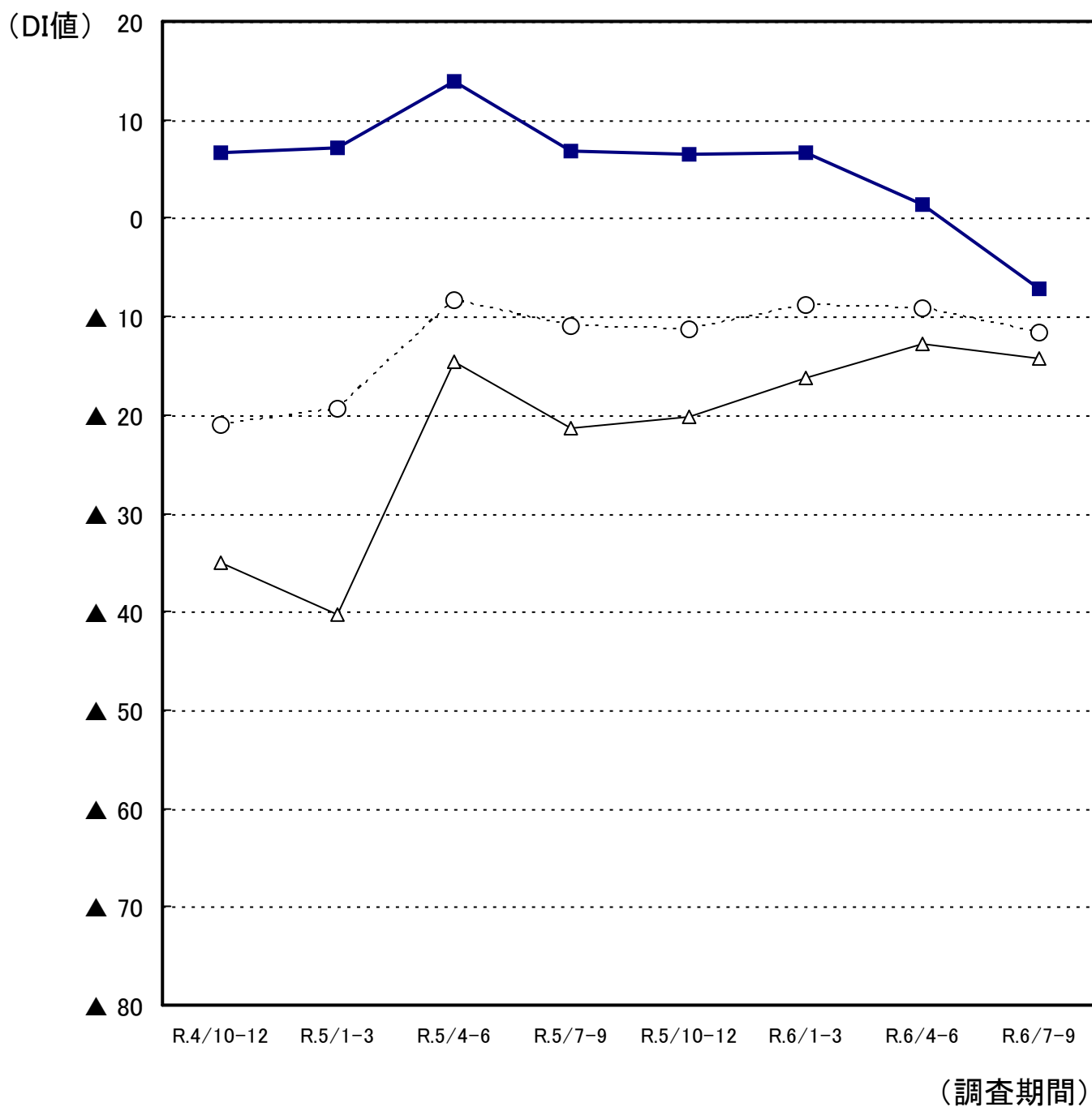
『**各種団体**』…「インバウンド関係で、来街者が若干増えているが、商店街全体としてはどの程度お金が落ちているかわからない」とのコメントが寄せられた。今後の見通しについては「しばらくはインバウンド関係で、来街者が若干増えるかもしれないが、日本ブームがいつまで続くかわからない。特に、ランドマーク的なものや映えスポットがないので、富士市に来街者足を止めさせるのはなかなか難しい」とのコメントが寄せられた。

『その他』…「吉原商店街周辺では、若い人の起業が増えており、良い傾向だと思う」「秋は軽トラ市や甲子秋まつり、商工フェア等イベントが多いので、店も忙しく、出店もあればより忙しくなるだろう」「様々な商店が廃業するなど、更地が目立つようになった」「最近の米価高騰が注目されているが、この地域の専業農家も稲刈が終わり、新米が出荷を迎えているが、肥料や燃料等の経費が増加する中で、厳しい経営が続いてきたが、ここで米価も上がり、農家も多少救われると思う」「地域の元気を取り戻すきっかけとなる祭典は繁栄している地域がある一方で、衰退した地域も少なくない。地域コミュニティの交流の場が失われることで、活性化にブレーキがかかることを懸念している」「富士川かりがね橋の開通によって渋滞が予想された岩松、岩松北地区の渋滞は特に問題はなさそうだが、富士北地区（富士高西、豎堀駅東の交差点）に渋滞が発生している。富士川橋（県道 396 号線）の渋滞は解消している」とのコメントが寄せられた。

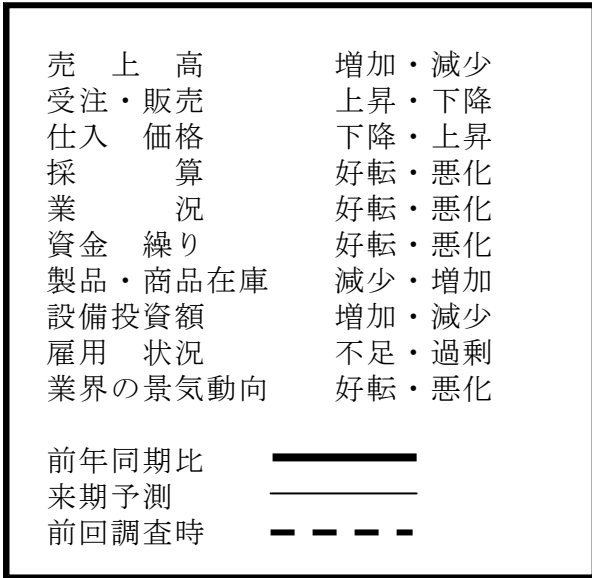
	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	27.3	40.9	31.8	▲4.5	横ばい
売上高	42.9	23.8	33.3	9.6	下 降
採 算	36.4	31.8	31.8	4.6	横ばい

全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

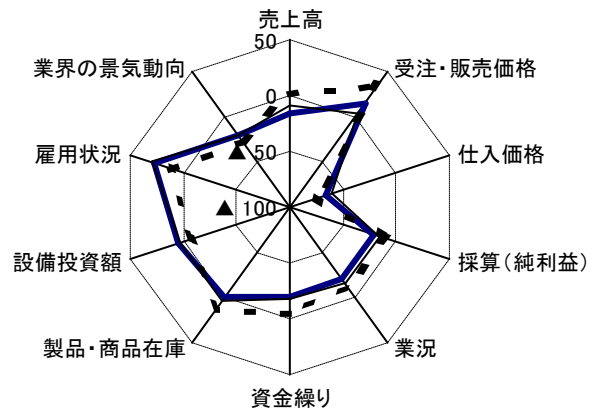
■ 売上 ○ 業況 △ 採算



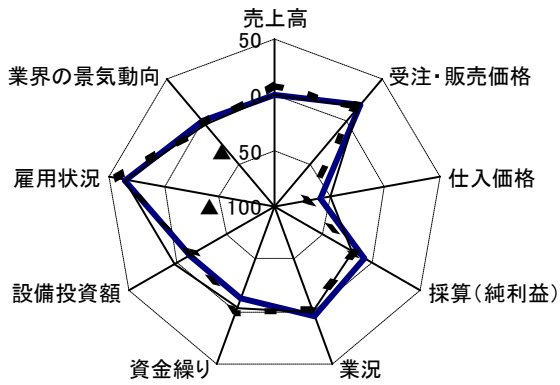
レーダーチャート



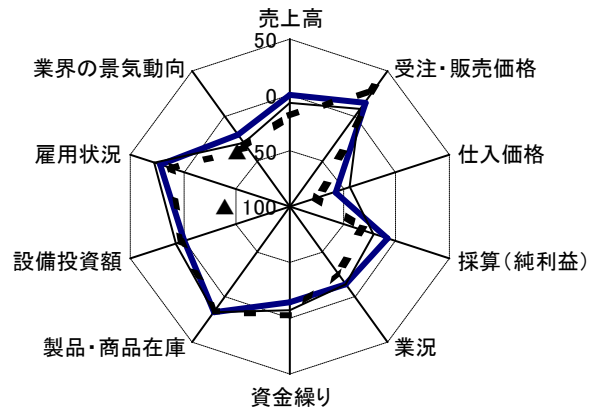
【製造業】



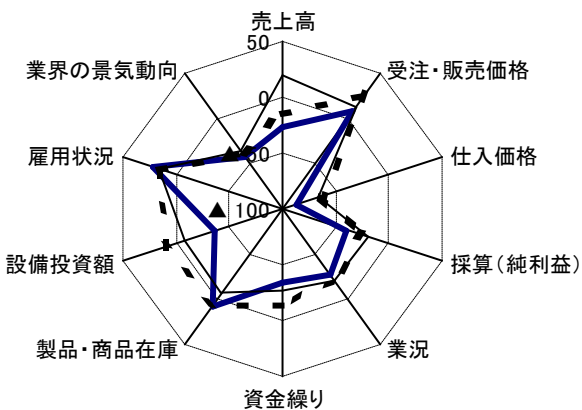
【建設業】



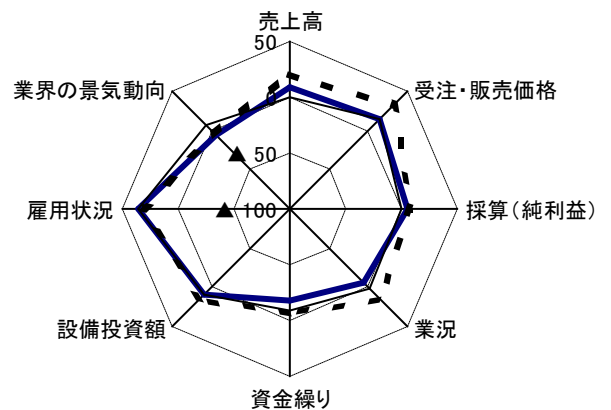
【卸売業】



【小売業】



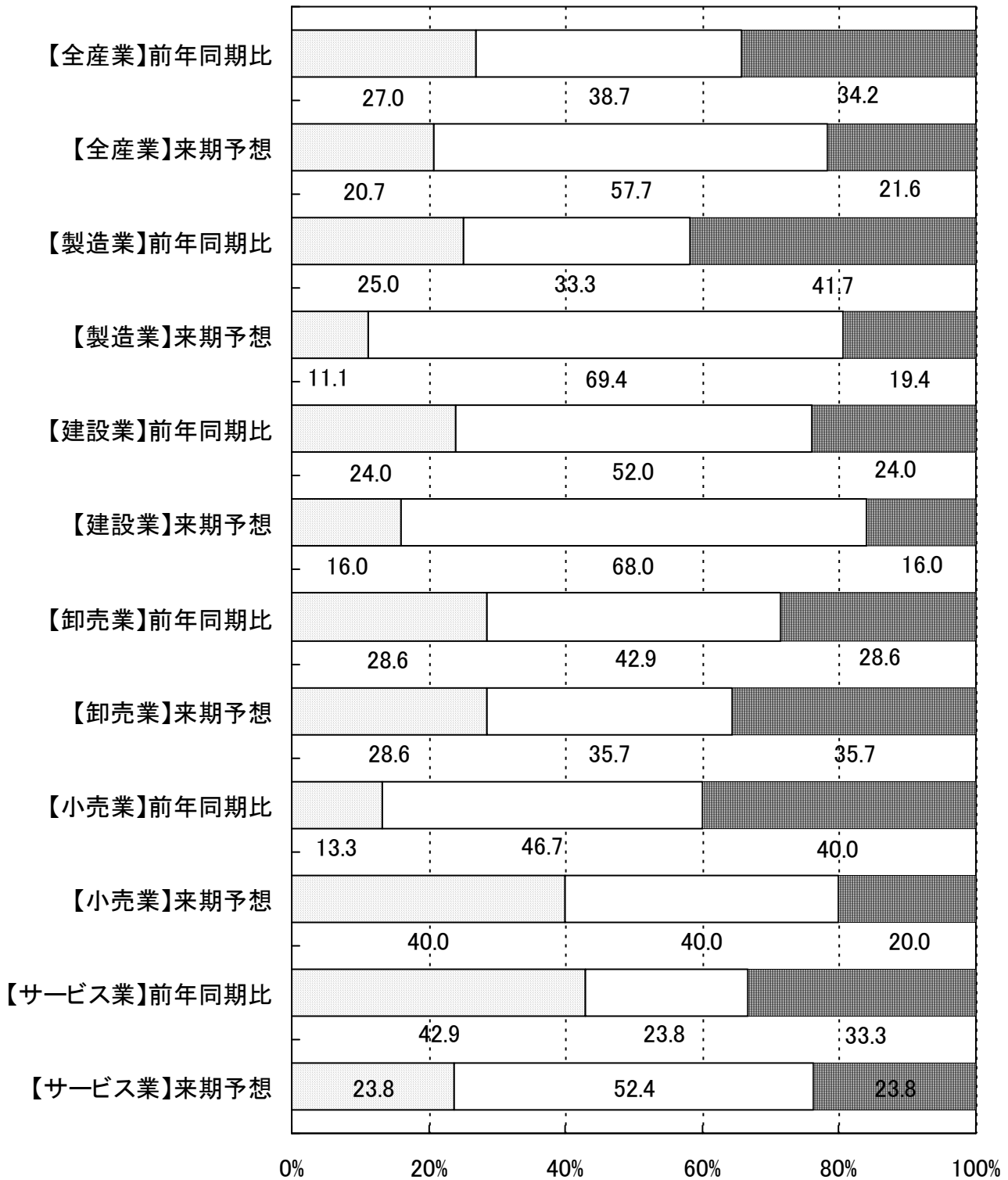
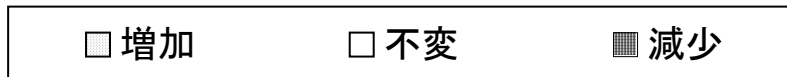
【サービス業】



◇ 経営上の問題点 ◇

産業別	上位回答項目
製造業	<p>1 位 人材不足</p> <p>2 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇／設備老朽化</p> <p>3 位 販売価格値上げ難</p> <p>その他 人件費高騰</p>
建設業	<p>1 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>2 位 人材不足</p> <p>3 位 人員不足</p> <p>その他 販売価格値上げ難</p>
卸売業	<p>1 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>2 位 人員不足／設備老朽化</p> <p>3 位 販売価格値上げ難／その他の需要の低迷</p> <p>その他 過当競争／人件費高騰／売上減に伴う利益減／その他の経費増大／人材不足</p>
小売業	<p>1 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>2 位 その他の需要の低迷／売上減に伴う利益減／設備老朽化</p> <p>3 位 販売価格値上げ難／人材不足</p> <p>その他 売上、利益減による資金圧迫</p>
サービス業	<p>1 位 人件費高騰／人材不足</p> <p>2 位 その他の経費増大／商品、原材料仕入れ価格の上昇／人員不足</p> <p>3 位 設備老朽化</p> <p>その他 売上、利益減による資金圧迫</p>

売上高の前年同期比と来期予測



最近の静岡県金融経済の動向

公表日（2024年9月13日）

日本銀行静岡支店
照会先 TEL 054-273-4106

（経済面）県内の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。最終需要の動向をみると、輸出と公共投資は高水準で推移している。設備投資は製造業を中心に増加している。個人消費は緩やかに回復している。住宅投資は弱含んでいる。こうしたもとで、企業の生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

（金融面等）預金は、前年を上回っている。貸出は、前年を上回っている。貸出約定平均金利（総合・ストックベース、地銀・第二地銀）は、前月比上昇している。企業倒産（負債総額10百万円以上）は、概ね感染症拡大前の水準となっている。

1. 需要項目別の動向

※前回からの変化 改善 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

（1）個人消費（前回からの変化） → 緩やかに回復している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。コンビニエンスストア販売額は、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストア販売額は、増加している。家電販売額は幾分持ち直している。新車登録台数・販売台数は、持ち直しが一服している。旅館・ホテルの宿泊数は、人手不足等の影響を受けつつも、緩やかに回復している。

（2）公共投資（前回からの変化） → 高水準で推移している。

（公共工事請負金額前年比：24/7月29.2 → 24/8月7.0%）

（3）設備投資（前回からの変化） → 製造業を中心に増加している。

（短観・設備投資額：23年度計画8.1% → 24度計画15.1%）

（4）住宅投資（前回からの変化） → 弱含んでいる。

（新設住宅着工戸数前年比：24/6月▲13.1% → 24/7月▲4.3%）

（5）輸出（前回からの変化） → 高水準で推移している。

（輸出額前年比：24/6月▲1.1% → 24/7月4.8% <速報値>）

清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計

2. 生産、雇用・所得、物価の動向

(1) 生産(前回からの変化) → 横ばい圏内の動きとなっている。

(鉱工業生産指数・生産<季節調整済>前月比：24/5月9.4%⇒6月▲8.2%<速報値>)

自動車・同部品は横ばい圏内の動きとなっている。二輪車・同部品は横ばい圏内の動きとなっている。食料品は横ばい圏内の動きとなっている。はん用・生産用・業務用機械は横ばい圏内の動きとなっている。化学は横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は幾分持ち直している。紙・パルプは横ばい圏内の動きとなっている。楽器は横ばい圏内の動きとなっている。

(2) 雇用・所得(前回からの変化) → 緩やかに改善している。

(有効求人倍率 季節調整値：24/6月1.09倍⇒24/7月1.09倍)

(3) 物 価 前年を上回っている。

(消費者物価指数(除く生鮮食品)：前年比24/6月3.0%⇒24/7月2.9%)

3. 企業倒産、金融面の動向

(1) 企業倒産 . . . 概ね感染症拡大前の水準となっている。

(24/8月、負債総額10百万円以上)をみると、倒産件数(12件<前年比：▲20.0%>)
負債総額(20億円<同：▲9.7%>)

(2) 預 金 前年を上回っている。(前年比：24/6月末+1.1%⇒24/7月末+1.6%)

(3) 貸 出 前年を下回っている。(前年比：24/6月末0.2%⇒24/7月末0.2%)

(4) 貸出約定平均金利 . . . 前月比上昇している。(地元地銀・第二地銀4行ベース、総合・ストックベース)
(水準：24/6月1.266%⇒24/7月1.268%)

以 上